

## 1. 略歴

1994年3月	東京大学文学部国史学専修課程卒業
1996年3月	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻修士課程修了
1999年12月	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士課程単位修得の上退学
2000年1月	日本学術振興会特別研究員（PD）
2003年3月	博士（文学）（東京大学）（博人社390号）
2004年4月	宇都宮大学教育学部助教授（社会科教育講座）
2007年4月	宇都宮大学教育学部准教授（同）
2011年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

日本近世史

### b 研究課題

近世史を専攻し、時期的にはとくに中世末から近世前期にかけての社会の変容に関心がある。地域やテーマとしては、信州・近江・関東等の村落構造や土地制度、兵農分離のプロセスや奉公人の問題、商人やその仲間、流通・交通、かわた等の身分とその集団などを検討している。

### c 主要業績

#### (1) 著書

単著『近世の土地制度と在地社会』東京大学出版会、2004年

#### (2) 論文

「兵農分離像の再検討」『歴史学研究』794号、2004年10月

「榎本弥左衛門の商いをめぐって」『宇都宮大学教育学部紀要』第56号（第1部）、2006年3月

「商人司と商人仲間」原直史編『身分的周縁と近世社会3商いがむすぶ人びと』吉川弘文館、2007年6月

「北関東の長吏小頭と職場・由緒」『部落問題研究』185、2008年6月

「十七世紀の年貢収取と村請制—信州伊那郡虎岩村を対象として」『東京大学日本史学研究室紀要別冊 近世政治史論叢』2010年3月

「虎岩郷の天正検地と土地制度」『飯田市歴史研究所年報』8、2010年8月